

関白梅会

高女25回卒 村井利衛

名称 この会は「関白梅会」という。
目的 本会は、会員相互の親睦をはかり、相互扶助の精神をもって、その福祉を増進することを目的とする。
会員 本会会員は、武儀高女25回生関市街地在住者を原則とし、加入・脱退は自由とする。以下略
一見、大へん角張った感じの会に思われそうですが、実はこの会は年一回の賑やかで明るい総会を楽しみにしている私共三十一名の者の集まりなのです。

今までは、市内在住者が二、三年に一度ずつ顔を合わせ、楽しいひとときを過ごすことにしていましたが、昨年一月に一人の友を失い、その悲しみの氣もちの中から、もっと近くににいる者同志が心の通い合いを深めようという声が高まり、在住者相互の連絡網をつくること、はつきりした規約をもって、年に一度は顔を合わせることに致しました。そして、昨秋九月第一回総会、発会式をもつ運びとなりました。

やっと出発点に

高校18回卒 河合良房

十月七日、法務省の中庭に、自分の名前を見つけた時、長い長い受験生活が、やっと、終わった」と叫んでしましました。
私は、高校時代から、漠然と社会正義を実現するため、法曹になりたいと思っていました。それに中法学部に入学したことから、いよいよ司法試験を目指すことを、心に誓いました。その後、学園闘争や住民運動に参加したりしながら、法律の勉強を続けました。そして、今年やっと合格できました。

今、私は、両親や妻の長い間の支援、多くの先生や友人の指導、援助に心から感謝しています。それは、自己の信念に基づき、社会正義の実現に

精一杯努力することであると確信しています。しかし、私は、そのための出発点に、やっと立ったにすぎない。これから、真の勉強の開始です。積み重ねることなく、自己研鑽を積み重ねていきたいと思います。
(53年度司法試験合格)

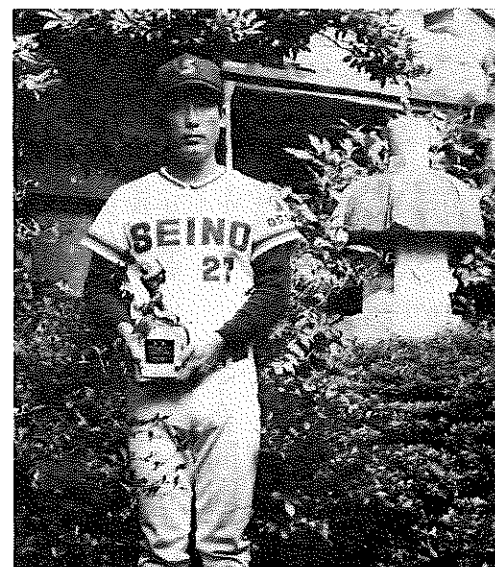


作品の前で「雑草の価値を再考して」と話す山田学さん(関市文化会館で)

新監督に林氏

野に咲く花や道端に根を張る雑草をカメラに収めて二十年という山田学先生の写真展が、10月13日(15日)にかけて関市文化会館で開かれた。

野に咲く花や道端に根を張る雑草をカメラに収めて二十年という山田学先生の写真展が、10月13日(15日)にかけて関市文化会館で開かれた。厳しい環境の中で必死に生きようとしている雑草が好きという先生の作品は、フキノトウ、サギソウ、リンドウなど約50点が展示され、多数の市民を楽しませた。



山田学写真展

(水泳、背泳、四百メートル) 全国総体出場(船戸、石竹)

後藤、三木田) 長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

長野国体出場(船戸、石竹)

進路状況

共通一次の初年度としては全体の志望状況に大きな変動はない。私大との併願が大巾に増加するものと予想されたが、昨年度より特につまらなくなった。就職は昨年より若干減少。私大、国公立大の志望の方向は、例年より早く決まっていたが、文科系学部の競争が激化し、国公立大も少数激戦となった。また国公立大が一回だけしか受験できなかったため、昨年度の結果を維持することはかなり困難と予想される。

第1志望による希望状況			
種別	人数	男	女
国公立大	70	17	87
私立大	86	29	115
国公立短大	0	25	25
私立短大	1	27	28
専門学校	6	17	23
就職	13	25	38
合計	176	140	316

幹事会のお知らせ

定例幹事会を左記要領で開催いたしますので、ご出席をお願いいたします。なお、ご都合の悪い場合は、代理の方をお願いいたします。

関高等学校同窓会幹事会
大塚 暉夫
定例幹事会
日時 昭和五十四年五月十二日(土) 十四時〜十六時
場所 関高等学校会議室
議題 (1)事業報告 (2)会計報告 (3)新年度行事計画 (4)その他

編集後記

多数のご投稿ありがとうございました。会員諸兄の活発な活躍や交流がうかがわれます。林氏の監督就任、河合氏の司法試験合格、関青年会議所理事長には、石丸継治氏、(関高十回卒)を引継いで、清水公男氏(関高十回卒、同窓会会計監査)が就任されました。一層のご活躍が期待されます。

名簿大改訂

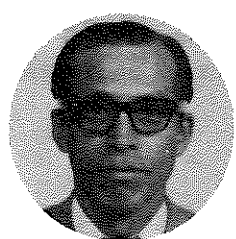
昭和50年3月に名簿を発刊して以来、多数の新会員の入会と記載事項にも異動を生じましたので、昭和55年2月の発行をめざして改訂作業が進められています。今年3月には全会員にハガキを送付し、記載事項の確認、予約注文の申込受付などの調査を行います。このハガキが名簿の基礎資料になりますので必ずご返事をお願いいたします。その後、不明者の調査を行いますので、その際には、ご協力の程よろしくお願いいたします。なお名簿について、お気付のことがありましたら同窓会事務局までご連絡下さい。



発行 関高等学校同窓会
印刷 所 印刷
電話 23155

同窓会名簿の大改訂に着手

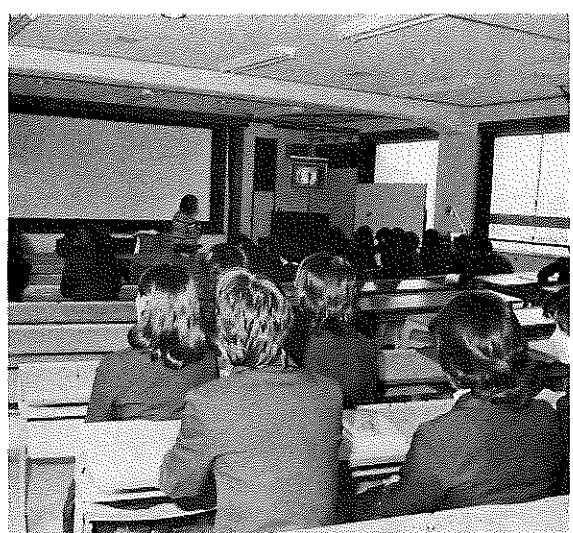
同窓会長 大塚 暉夫



会員の皆さんには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、会の発展のためにいろいろとご協力賜わり、厚くお礼申し上げます。近頃、母校を訪ねると昔の面影はほとんどなく、永久建築化された校舎が偉容を誇っています。

十年ぐら前に卒業された会員でも、「母校は変わってしまったな」とおどろいていられたとか、高女時代、高校初期の卒業生はなおさらのこと時の流れにひとしおの感を持つたものでしょう。人間形成のうえで重要な高校教育を、このように充実された環境と、先生方の温かい



授業風景(視聴覚教室)

同窓のきずな

佐合久一郎

二指導で学べる在校生諸君は恵まれていてと喜ぶばかりに思われません。この新しい環境の中で、関高の輝かしい伝統が受けつがれ、また作られ、今後益々大きく育っていくものと願っております。

同窓会の活動も、定例的な感もありませんが、皆さんのご協力のもとに地道に進んでおります。現在、名簿の大改訂作業に着手しておりますが、名簿は会員間の情報交換の基となるものですから、多数の皆さんに格別なご協力をお願いして間違ったのいものを発行すべく努力しております。

また今年でも、それぞれ同期の会を開いて友情を温める話をよく耳にします。その時の様子や逸話など、できれば写真をも添えて本会(学校)宛にお送りいただければ、有り難く思います。それぞれの活動が会の一層の発展につながり、関高同窓会をより大きく育てるものと確信致しております。最後に同窓会諸兄姉のご健勝とご活躍を心からお祈りいたします。

クロヨン見学記

中村 保先生

同窓会誌編集の方から、「印度旅行記を寄せよ」との事だが、私の「ネパール、印度旅行」は、五十二年二月の事で、いささか旧聞に属するし、且つ紀行文は、すでに地方新聞に登場済である。だから代りに、去夏、古い教子四人と、クロヨン見学に行った時の事を概略だけ書いて見る。

私は、武儀高女在勤中、柏木、奥、両先生と三人で、有志の生徒を伴い、白馬登山をした。四十数年も昔の事である。

恩師拝謁

同行した生徒は、校医の診断と、父兄から参加願出の手続きを経て、結局八名であった。女子の学校行事にアルプス登山を企画したのは、我が校が嚆矢だった。登山靴も、登山杖も、草鞋にカンジキを付け、金剛杖に先金したのを携えたばかり、現地で雇った屈強な強力二人を前後に付け、前者の足跡のみに従って急坂の雪渓を越えた事など、今から思えば仲々の冒険だった。

この人達は卒業後「白馬会」と称して、折にふれ会合するし、連れ達って小旅行にも出かける。私も時々誘はれて同行している。

今回のクロヨン行は、自分も待望の所だったし、白馬会

る所から、立山の中腹にトンネルを穿って、大観望に出、黒部平へ降りる事が出来る様になった。

これが、今回、私達の選んだ「立山、黒部アルペンルート」である。

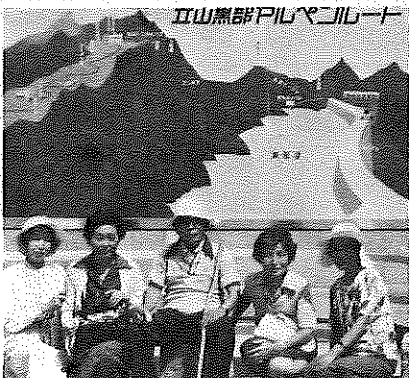
七月二十五日、午後十一時、高山線で、岐阜駅を脱出した。行は、二十六日未明、富山に着いた。数日、雨もやみ、晴れた。数日、雨もやみ、晴れた。数日、雨もやみ、晴れた。

富山駅着後、地方鉄道で、直ぐさま立山駅へ向う。立山駅から美女平までは、古米、立山登山者にとって、最大の難所だった。今は、急斜面にケーブルが出来、わずか七分間で登る事が出来る。

この夏は異状な暑さで、皆が開口だった。美女平は、初秋の涼しさで、雲山にまつ、立山杉の伝説を聞き、高山植物の咲き乱れる平原を、楽しむ事が出来た。

立山トンネルを潜り、大観望に出ると、七月末というのに、残雪があり、流石に北アルプスだと思った。積雪を背に記念撮影などし、小憩後、黒部平に下る。

大観望から黒部平までは、千七百メートルのワンパンロープウェイ。更に八百メートルのケーブルを潜ると黒部の人造湖に出る。



西部竹子 (旧姓吉田) 村上富美子 (旧姓岡田) 中村 保 加藤ヤス (旧姓織部) 深川 花 (旧姓深川)

「湖の水面を眺めていると、上流から、ゴミが一つ流れて来た。近付いたら、人間が採っていた笑った」と。

ダムは、立山の直下にあり、お椀を立て割りにし、ふくらんだ方を上流に向けて置いた様な格好をしている。

見学者が、一番不思議に思う事は、其お椀のくぼんだところから、下流に水を吹き出している。(円形の霧の様に見える)ものだろう。ダムの附近を警邏中の関西電力社員が、次の様に説明して呉れた。

「黒四は、国立公園の一部だから、黒部川の水量を減らしてはいけない。必ず一定量は下流に流さねばならぬ。それが円形の霧となつて流るのだ。霧状に放水しないと滝となつてたちまち岩盤に孔を開けてしまうからだ」と。

同窓会

生徒にもどったひととき

高校10回卒 後藤 幸恵 (旧姓石原)

八月十六日、真夏の続き、その子たちの日常を見るにつまずなを、恩師奥田清先生に御出席いただきまして、山変だしたこと、感謝の念を新たにいたしました。

卒業以来、初めて出席された方もありましたが、二十年の流れば、全く無かったように、一同校歌の斉唱に声を合せ、ひととき、我が身の年令だけを忘れて、少々は安心していただけたいと思います。



柳ヶ瀬の三次会まで盛大に

—運営機構もガツナリと—

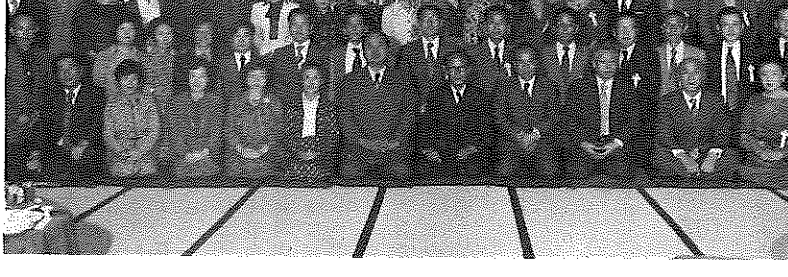
高校第4回卒 渡辺 宣章

二月より計画した世話人の方々の協力で漸く迎えた十月十五日(日)に岐阜市長川畔長良川ホテルで第四回生の同窓会を開催しました。

当日は久しぶりに逢う事が出来る諸先生方や同級生の顔の如く空は晴れ渡り長良川の如く澄みきってました。

十二時頃より、三三五五同級生が集り始め受付で旧姓の入った名札リボンを受け取って定刻の十三時を少し過ぎて開会となりました。

当日出席していただきました先生方は安田富士子(岐阜女子大学)奥田正子(関高女)西部文雄(日大附属高校)安田正(大垣北高校)足利正臣(福井県教育委員会)川崎立夫(岐阜県教育センター)の諸先生でございました。大変にお忙がしい中、又遠路御出席下さいまして誠に有難度うございまして。紙上を借りまして改めて御礼申し上げます。



行いたいと考えて居ります。地区別世話人の任期は今回の同窓会迄と留任も可能です。地区別世話人は次の通りですから同窓生の皆さんは自分の地区の世話人の人と良く連絡をとり合ってください。

・関東地区
大川伊基子 森 利子
森 新一 山田多加夫

・関西地区
山田 貞子 飯尾 敏男

同窓会は若返りのエキス

—友の再婚あつせんも—

高女第18回卒 M・G 生

卒業以来三十八年となり投稿を云々あれど何をまとめるときかと心細い限りです。私達卒業以来十回以上のクラス会を開いております。当初は少数の方によりお米一合と砂糖、醬油少々野菜などの持寄りから始まりました。

現在では関、太田、名古屋、岐阜の四地区に分けて当番を交替し毎年処を替へ、ある時は慰霊祭、又昨年は修学旅行の延長の様な一泊旅行を楽しみました。今年是我々岐阜が当番にて晩秋の一日を華陽ホテルにて行いました。たゞ集って話を肴にワイワイガヤガヤ時を過ぎるのみ状態ですが、これが又すばらしく楽しいもので、年毎に変わった方の出席も得られ、又話もはずみです。五十才も半ばとなり、年一度の会合は若返りのエキスとなつております。特に最近新しいニュースの一つは、クラス会活動だけでなく、早くに結婚に破れ、遠い異郷でわびしく暮らしている友を知って、我が娘の如く調度品も整えて再婚させ、現在幸せな生活に入り、クラス会のレギュラーメンバーの一員になった友もいます。こうした事も友達なればこそ出来ることだとしみじみ思われます。

オイ、オマエ、で話し合える魅力

—合同同窓会を終えて—

高校第12回卒 伊佐地金嗣

去る一月三日に、第十二回卒業生、五組六組の合同同窓会を関市白川町西洋軒に於て行いました。五組の国光先生、六組の高橋先生をお迎えして総勢二十七名の出席のもと盛会のうち楽しんでくごやかに終りました。

五組は男子ばかりでありまして、なんとか女性の出席を合同になったのでありましたが、残念ながら出席は一人です。昔の相撲取ったこと、責任かな?とも痛感しました。本日に年月の流れるのは早いもので、卒業してから十数年の年月が経過しました。み



(写真 高校第12回生合同同窓会)

お互い今の職業も非常にバラエティーに富んでいる。大学の教授、医者、社長、銀行員、先生、公務員等、あらゆる職業が同窓会にあり、中堅となつて活躍しているようである。ある時と場所では、上下と区別がつき、平素はむつかしい顔をしてるようだが、同窓会ではそれを忘れさせてくれる。又友であればけなしもするが持ち上げていることも多い。オイ、オマエといった話し合えるものです。

名残りはつきなかつたけれども朝になり、勤めもあるものもあり、三三五五、又三年後に会うことを約して別れました。